

令和6年度 ふくい理数グランプリ（高校部門） グランプリ本選 実施要項

1 目的

- (1) 授業で学習したことをベースに、実生活に関連した課題に取り組むことによって、数学・理科や科学技術に対する興味や関心を喚起するとともに、科学的な思考力・判断力・表現力等を育成し、理数的能力の向上を図る。
- (2) 課題に取り組みながら、科学の面白さや考える楽しさを感じる場とし、国際科学オリンピック大会やその国内予選大会などへの参加の契機とする。

2 主催 福井県教育委員会

3 共催 福井県高等学校教育研究会数学部会  
福井県高等学校教育研究会理科部会

4 日時 令和6年9月8日（日） 10:00～15:00（本選当日）

5 会場 藤島高等学校

数学グランプリ	新嶺会館3階 プラタナスホール
物理グランプリ	3号館2階 物理実験室、多目的室
化学グランプリ	3号館3階 第2化学実験室、理科講義室2
生物グランプリ	3号館1階 生物実験室、理科講義室1
地学グランプリ	3号館3階 第1化学実験室
（開・閉会式・表彰式）	各グランプリ会場
引率等控え室	新嶺会館2階 自習室
大会本部	4号館1階 被服室
（来賓控室・救護室・事務局）	

6 グランプリ本選の参加者数（予定）

部 門	人 数
数学グランプリ	30人（10チーム）
物理グランプリ	30人（10チーム）
化学グランプリ	30人（10チーム）
生物グランプリ	30人（10チーム）
地学グランプリ	33人（11チーム）
合 計	153人（51チーム）

7 実施内容

(1) 数学グランプリ 高校部門

グランプリ本選では、実生活・実社会と関連する内容を題材に、課題を正しく理解する読解力、課題を解決する過程における創造力や直感力、論理的思考力を高める問題を出題する。原則として3人1組のチームで問題に取り組み、チームワーク、考察・発表の論理性、プレゼンテーションの能力等を総合的に評価する。

(2) 物理グランプリ、化学グランプリ、生物グランプリ、地学グランプリ

原則として3人1組でチームをつくり、実生活・実社会と関連する内容を題材に、観察・実験を行う問題に取り組む。観察・実験のチームワーク、結果の整理と考察、発表の論理性、プレゼンテーションの能力等を総合的に評価する。

## 8 日 程

### 数学グランプリ

時 間	内 容
9:20~10:00	受付
10:00~11:30	問題にチャレンジ
11:30~12:30	昼食・休憩
12:30~13:00	発表準備
13:00~14:00	発表
14:00~14:30	休憩
14:30~15:00	講評・表彰式
	解散

### 物理、化学、生物、地学グランプリ

時 間	内 容
9:20~10:00	受付
10:00~11:40	実験・観察
11:40~12:30	昼食・休憩
12:30~13:00	発表準備
13:00~14:00	発表
14:00~14:30	休憩
14:30~15:00	講評・表彰式
	解散

※ 10:00~15:00 の時間配分については、変わる場合がある。

## 9 表 彰

- ・最優秀賞、優秀賞、奨励賞、激励賞を設け、最優秀賞、優秀賞、奨励賞には賞状、メダルを、激励賞にはメダルを贈る。
- ・数学グランプリ 個人および団体を表彰し、個人賞はトロフィーを授与する。
- ・科学の甲子園全国大会代表校にはカップを授与する。